立地適正化計画による本市のまちづくりは

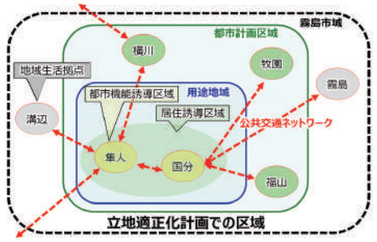
宮田　竜二　議員

問　高齢者をはじめとする市民が、公共交通を利用して各施設にアクセスできるようなコンパクトなまちづくりを推進する「霧島市立地適正化計画」が策定された。周辺の市町も本市以上に人口減少が加速している。事務事業を効率的に共同処理して広域連携していく必要があるのではないか。

答　令和7年4月に一部事務組合の事務担当者レベルの協議会が発足し、再編・統合する場合の計画について、令和9年3月に県知事の許可を得る方向で進めている。

問　近年のライフスタイルの多様化に伴い、「二地域居住」に注目が集まっている。本市には空港があり、「二地域居住」に大変優位な環境にあると思う。まちの活性化を図る施策として、促進する考えはないか。

答　移住・定住を促進し、関係人口創出や二地域居住につながるプロモーション活動を推進していく。



詳しくはこちらで

災害対策の強化を

久木田　大和　議員

問　市街地区域の災害対策として水戸川に排水機場を設置できないか。また、福山地区の河川復旧に向けた計画はどうか。

答　市街地区は、国分運動公園調整池などを整備することで雨水の国分中央地区への流入量抑制を図ることとしている。水戸川への排水機場設置による効果は低いと考える。福山地区の河川復旧については国の災害査定を受け、早急に取り組むほか、田尻川についても砂防施設の状況を確認し、県へ対応を求めていく。

被災した田尻川

問　消防団詰所に災害対応のためのTVやラジオなどを配備できないか。

答　8月8日午前5時に大雨特別警報が発表されたことを受け、国分・隼人・福山の各方面隊を招集し災害対応に備えた。災害情報は、消防団車両に装備しているラジオおよび消防無線の受令機で収集できると考えている。

詳しくはこちらで

クルーズ船の観光客を霧島へ

植山　太介　議員

問　令和7年8月の「隼人港へのクルーズ観光客誘致に向けた勉強会」の内容と、今後の計画はどうか。

答　県内におけるクルーズ船の寄港回数がコロナ禍前に回復し、今後も寄港回数の増加に伴う観光需要が順調に推移していくと予想される。その効果を本市にも波及させ、観光をはじめとする地域経済の活性化を図るための検討を行うことを目的として開催された。クルーズ船寄港の動向や取組について、国や県、本市の情報提供を行ったほか、本市の各経済団体も参加し、クルーズ観光客誘致に期待するなどの意見交換を行った。今後は、クルーズ船の運航会社や旅行会社へ観光スポットなどの情報提供を行い、旅行会社などの担当者を本市へ招き、観光スポットの案内を行う計画である。

隼人港新港

その他の質問
広域連携について

詳しくはこちらで

河川施設の定期的なメンテナンスを

阿多　己清　議員

問　郡田川辻松山堰は、整備後25年が経過した。今後のために設備などの定期的なメンテナンスが必要ではないか。

答　辻松山堰は、平成12年度から2か年で県が整備し、完成後、旧国分市に移管された農業用水を取水する施設である。市内には、老朽化の著しい土地改良施設が多数あるため、「土地改良施設インフラ長寿命化計画」を策定し、計画的に点検・更新などを行い、長寿命化を推進していく。

砂防えん堤内の早急な土砂除去を

問　辻松山堰ゲート内には、上流からの土砂が毎回かなり堆積している。原因とされる永谷川上流の砂防堤内の土砂除去が必要ではないか。

答　以前に濁りの報告を受け現地を確認し、えん堤上流の山腹崩壊が原因と判明した。地域からの要望もあり、県が令和7年度中に除去を行う予定である。

堰内の土砂堆積状況

その他の質問
清水地区の新設道路計画

詳しくはこちらで

観光支援と市街地経済の回復を

松下　太葵　議員

問　公式LINEを活用した「ぐりぶークーポン」のような定期的なクーポン配信の導入で、事業者への支援はできないか。また、防災や行政情報の発信ツールとして積極的に取り入れられないか。

答　LINEの利用者数が多いことは理解している。クーポン券は、他自治体の事例で偏った店舗の利用が見受けられるなど課題があるため、今回は検討していない。防災情報発信については、きりしま防災・行政ナビを活用してほしい。

的確な避難者への支援を

問　市が指定している避難所ごとの備蓄状況と、その更新・補充の仕組みはどうか。

答　大規模災害が発生した場合は、国等から食糧などのプッシュ型支援を受けられるまで3日程度要するとされていることから、食糧備蓄については3日分を基準に賞味期限にあわせ計画的に更新・補充を行っており、賞味期限が近づいたものは、防災出前講座や地区防災訓練などの際に、家庭用備蓄やローリングストックの啓発を行った上で配布している。

詳しくはこちらで

(仮称)新町～久保田線の改良を早急に

前島　広紀　議員

問　この事業が計画された経緯と現在の進捗状況はどうか。

答　国分霧島線（県道60号）の久保田バス停から郡田方面への市道は、道路幅員が狭く、大型車両の通行が多い。近年の宅地開発などにより交通量が増加しており、車両通行や歩行者の安全確保が困難なため平成27年度に改良が計画された。令和7年度は、市道河畑～重久線に接続する約60㍍区間に着手する。

久保田交差点

問　国分北小の改修の進捗状況はどうか。

答　令和3年度から令和9年度までを工事計画期間として、校舎や屋内運動場の改修工事を行っている。これまでに屋内運動場の改修工事が終了し、6棟ある校舎については、令和6年度までに3棟の改修工事や渡り廊下の増築工事が完了している。今後は、残り3棟の改修工事を行う計画で、令和9年度中に完了する見込みである。

その他の質問
災害発生時の特に高齢者支援

詳しくはこちらで